

施策評価シート（令和5年度 実績）

【総合戦略評価】

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる		
数値目標	数値目標	基準値	目標値
	町商工会の新規加入数（件） (町商工会情報)	19	20

施策評価（施策主管部長）

施策 4-2

施策	地域農林業の活性化
施策内容	地域農林業の活性化のため、オリーブや落花生などの特産物の普及を奨励するとともに、遊休農地の地権者に土地の利用意向を確認したうえで、農地の集約化、新規就農者・法人の参入や遊休荒廃地の復元整備を支援していきます。

No.	関連する主な事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	農業振興事業	12,279				適当・維持			
2	遊休・荒廃農地対策事業	2,743				適当・維持			
3	特産物普及奨励事業（農業再生事業）	1,597				適当・維持			
4	有害鳥獣対策事業	1,749				良好・維持			
合計		18,368	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）											
指標名			基準値	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況		
①	新規就農者数（人）	計画	3	3	3	3	3	3	D		
		実績		1							
②	町内オリーブの生産量（トン）	計画	1.25	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	A		
		実績		3.8							
③	遊休荒廃地の復元整備支援件数（件）	計画	1	5	5	5	5	5	D		
		実績		2							
前年度	成果	-									
前年度	課題等	-									
今年度	成果	・オリーブは農業法人による生産量が増加傾向にある。また個人農業者には、継続性確保のため資材等の補助を実施した。 ・補助金による支援により、遊休農地の一部解消や農地の集約をすることができた。									
今年度	課題等	・新規就農者の確保を含め、農業の担い手不足は深刻な問題であり対策が必要である。 ・オリーブの生産性を高め、生産量の安定を図ることが必要である。									

※評価 「地方創生に非常に効果的であった」「地方創生に相当程度効果があった」「地方創生に効果があった」「地方創生に対して効果がなかった」

内部評価（評価・理由等）	
地方創生に効果があった	全国的に担い手が不足しているため、県やJAと支援策の連携をし、新規就農者の確保に引き続き努める。湘南オリーブオイルが地域団体商標として認められたことは、今まで行ってきた特産物普及のに向けた活動の成果として捉えることができる。今後より一層、周知性を高める策を検討する。

外部評価（評価・主な意見等）	
施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<ul style="list-style-type: none">・移住してくる方や町民が、気軽に農業に携わることができる仕組みづくりを検討し、遊休荒廃地の活用に繋げることを目指すこと。・新規で就農を考えている方にとって、農地を使用するにあたっての制限から思うように進めることができないことや、鳥獣対策等も含めて自身ですべての作業を行わなければならないことは非常に厳しいので、町は関係団体とも協力しながら、新規就農者を支えるための仕組みづくりが必要である。

※ 町の最終方針 「継続推進」「見直し」「拡大・拡充」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<p>〈地域農林業の活性化〉</p> <p>有害鳥獣の被害対策</p> <p>有害鳥獣対策協議会の活動によるイノシシなどの個体数の減少や、集落環境整備のための広域被害防止柵の整備などによる有害鳥獣の被害対策を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・町民が気軽に農業に携わることができる仕組みづくりのため、農業に関わるNPO法人が事業の実施ができるよう、情報提供と意見交換を実施していく。